

「**囲町東地区第一種市街地再開発事業**」

市街地再開発組合設立認可のお知らせ

～中野駅前約 2.0ha、住宅・商業・オフィスのミクストユースプロジェクト～

三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：藤林清隆）は、東京都中野区にて権利者の皆様と推進しております「**囲町東地区第一種市街地再開発事業（以下本プロジェクト）**」が、9月16日に市街地再開発組合設立について東京都の認可を受けましたことを、お知らせいたします。

本プロジェクトは、JR 総武・中央線、東京メトロ「中野」駅の西側至近に位置し、大学などの教育機関や医療機関、官公庁やオフィスなど多様な機能が集積する中野四季の都市（まち）を北側に有した、利便性が高くより一層の賑わいが望まれるエリアです。約 2.0ha の敷地には、住宅（約 720 戸）、商業施設・オフィスに加え、隣接する区立「**囲町ひろば**」と一体的な広場形成を行い、防災機能の拡充、回遊性のある歩行者空間の整備及び魅力的な都市空間の創出を行います。また、ペDESTリアンデッキ等の歩行者動線を整備することで、新北口駅前広場から中野四季の都市にかけての回遊性を高めます。

中野駅前という立地特性を活かした、住宅・商業・オフィスのミクストユース型の再開発により、中野の玄関口として新たな魅力を創出し、多様な方の交流・賑わいを生むとともに、安心・安全で快適な街づくりを目指します。

今後も、権利者の皆様とともに、2024 年度の竣工を目指し事業を推進してまいります。



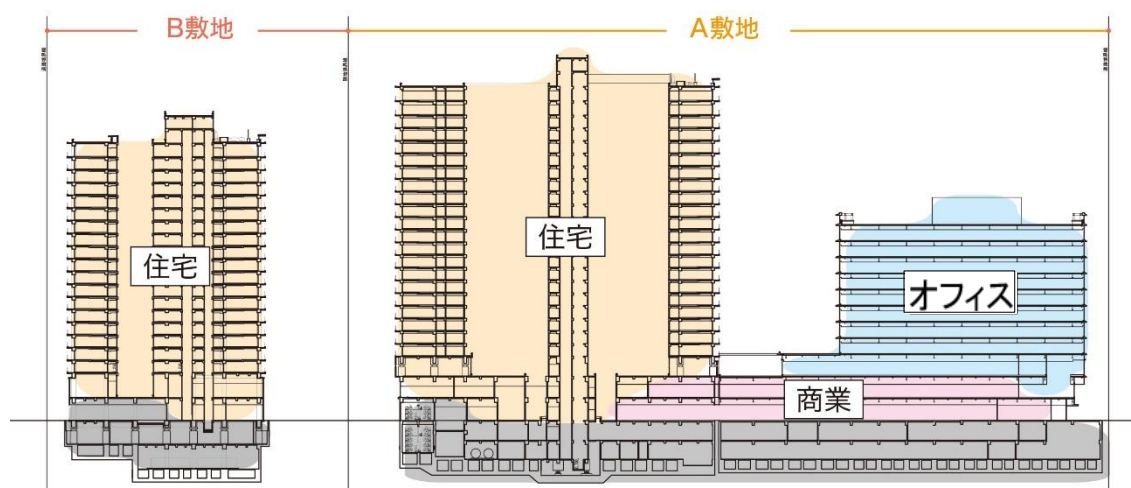
【完成予想 CG】

■本プロジェクトの特徴

- ・中野駅至近、約 2.0ha の大規模再開発
- ・約 720 戸の共同住宅、オフィス・商業施設を含むミクストユースプロジェクト
- ・隣接する区立「囲町ひろば」と一体的な広場を形成、連続するオープンスペースを創出
- ・ペDESTリアンデッキ等の歩行者動線を整備することで、新北口駅前広場からの回遊性を向上



【施工区域図・建物配置図】



【建物断面構成図】



【1階地区施設広場のイメージ】

約 1,000 m²の地区施設広場は、既存の区立「囲町ひろば」と空間的に連続して配置し、緑地による潤いと新たな賑わいを創出します。



【2階デッキ商業イメージ】

駅から連なるペDESTリアンデッキを敷地内に延長し、デッキレベルの歩行者ネットワークを創出します。



【1階中野駅前広場側商業イメージ】

駅前広場側に商業施設のメインエントランスを設置し、商業の賑わいを演出します。

※記載内容は予定であり、今後変更となる可能性があります。

■これまでの経緯と今後のスケジュール

本プロジェクトは、2011年9月に市街地再開発準備組合を設立し、2015年12月に都市計画決定を経て、今般の再開発組合設立に至りました。今後、権利変換計画認可を経て、2021年度の本体工事着工、2024年度末の竣工を目指し、事業を推進してまいります。

■プロジェクト概要

事業名	囲町東地区第一種市街地再開発事業
施行者	囲町東地区市街地再開発組合
所在地	東京都中野区中野四丁目地内
区域面積	約 2.0ha
建築面積	約 8,860 ㎡
延べ床面積	約 121,100 ㎡
主要な用途	住宅、オフィス、商業施設
住宅戸数（予定）	約 720 戸
事業推進コンサルタント	株式会社佐藤総合計画
参加組合員	三井不動産レジデンシャル株式会社

※記載内容は予定であり、今後変更となる可能性がございます。

■位置図

